

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の催し物に参加する機会はあるが、ボランティアや地域の方々との交流する機会が少ない。	・ボランティアや地域の方々に多く来て頂き、交流を行う。 ・子ども食堂との交流	・地域の方々の趣味を発表する場の提供。 ・地域の方々が気軽に立ち寄れる環境を整える。 ・月1回の子ども食堂に参加し、地域の子供たちとふれあう機会を増やす。	6ヶ月
2	44	運動への働きかけが不十分である。	・食事・水分・排泄・運動に留意することで、普段の体調を整える。	・ご本人やご家族の希望を伺い、また個々の歩行状態なども確認しながら、本人に合った運動が行えるようにする。 ・屋外の散歩なども取り入れる。	2ヶ月
3	4	運営推進会議の活性化。	・利用者の生活状況について、更なるサービス向上に努める。	・法人内の管理栄養士・機能訓練指導員等に参加を依頼し、専門的観点からの意見・助言を求める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。